

蚊媒介感染症予防対策の実施について

6月は蚊媒介感染症予防啓発月間です



蚊が媒介する感染症には、平成26年夏に約70年ぶりの国内感染患者が確認された**デング熱**のほか、チクングニア熱、ウエストナイル熱など様々なものがあります。特に、平成27年秋以降、中南米地域を中心に流行している**ジカウイルス感染症**は、一般的には軽い症状ですが、神経疾患を起こす可能性や、妊婦が感染することで胎児に先天的な障害を起こす可能性が指摘されており、国際的にも緊急対策が進められている感染症です。

今年の夏にはリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、ジカウイルス感染症の流行地域へ渡航される方も多いと予想されます。そこで、横浜市では、夏に向けて市民の皆様へより広く注意を呼びかけるため、**6月を啓発強化月間**とし、蚊媒介感染症の予防対策についてお知らせしてまいります。

啓発強化月間の取組について

「蚊に刺されない・蚊を増やさない」対策について広くお知らせします。

蚊媒介感染症を予防するためには、「蚊に刺されない・蚊を増やさない」両方の対策が必要です。自分や周りの方々の身を守るために、次の対策をお願いします。

蚊に刺されない！	蚊を増やさない！＜掲示のお願い＞
<ul style="list-style-type: none">●蚊が多い場所へ行く時には、長袖・長ズボンを着て肌の露出を避ける。虫よけスプレー・ローションを使用する。●雑草の茂った場所や、湿った風通しの悪い場所に、長時間とどまることは避ける。 	<ul style="list-style-type: none">●蚊の幼虫（ボウフラ）の発生を防ぐため、屋外に水がたまる入れ物やごみを置いたままにせず、片付ける。●草やぶは蚊の潜み場所になるため、せん定や草むしりをして風通しを良くする。 

＜今後の予定＞

- 1 自治会・町内会へのお知らせ：ちらし約21,000枚の配付、掲示依頼
- 2 区役所等公共施設へのポスター掲示：ポスター約120枚の作成、掲示
- 3 衛生研究所 市民向け感染症セミナー（8月予定）

【蚊のモニタリング調査について】

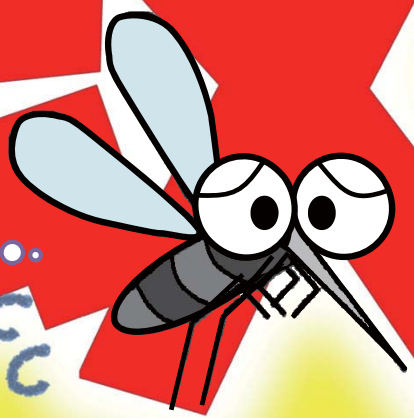
平成16年から実施している蚊のモニタリング調査を今年度も実施します。市内の公園や港湾地区25か所で実施し、蚊の生息数やウイルス保有の有無等を調査します（6月～10月）。また、観光客等の利用者が多い公園2か所（山下公園、臨港パーク）については、5月19日から調査を先行して開始しています。

横浜市ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/20160521164557.html>

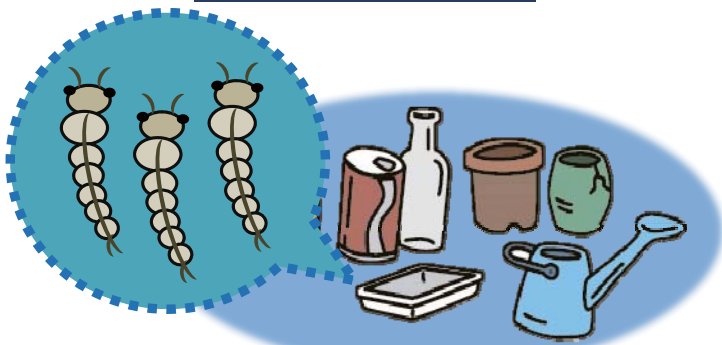
蚊か

住みにくくなつたなあ



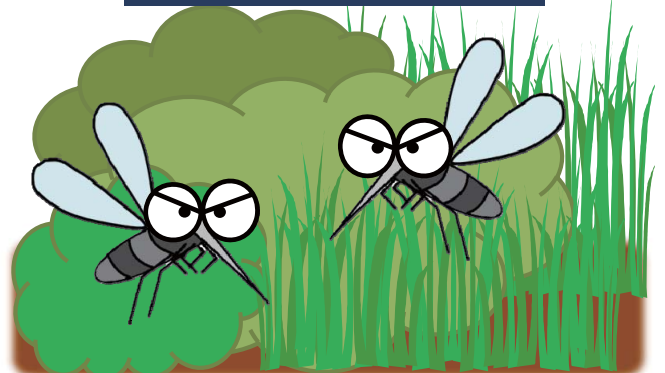
増やさない

蚊の幼虫の発生源



屋外に水がたまる入れ物やゴミを置いたままにしない

蚊の成虫のひそみ場所



せん定や草むしりをして風通しをよくする